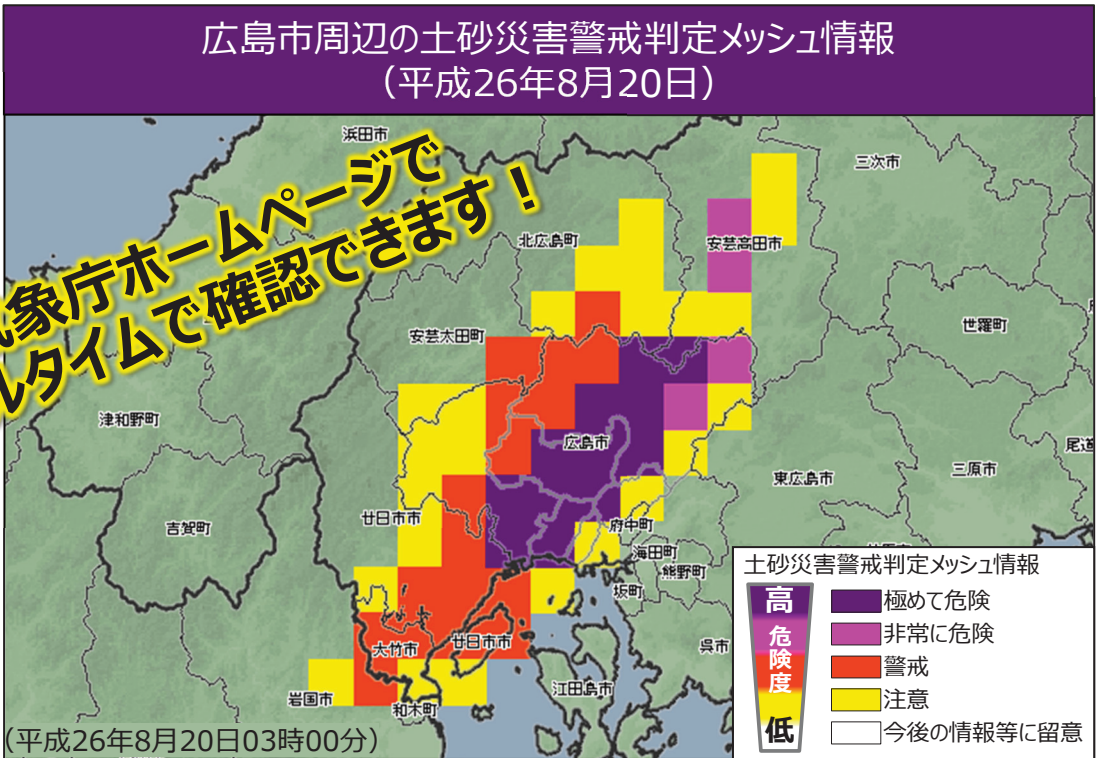


土砂災害

警戒判定メッシュ情報の活用

～土砂災害から命を守るために～



気象庁HP「土砂災害警戒判定メッシュ情報」<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>



写真：広島市で発生した土砂災害（平成26年8月20日気象庁撮影）



このリーフレットでは、土砂災害警戒判定メッシュ情報を活用して、土砂災害から命を守るための方法について紹介します！

土砂災害は何に気をつけないといけないの？

急傾斜地や溪流の付近における土砂災害のリスク

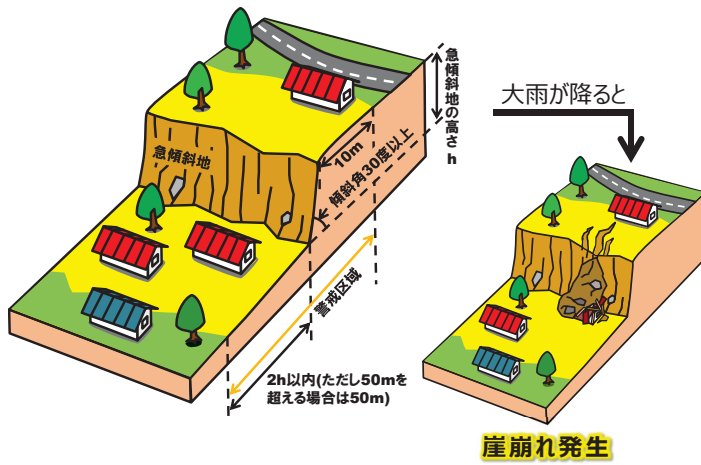
土砂災害は、建物に壊滅的な被害をもたらし一瞬のうちに尊い人命を奪ってしまう恐ろしい災害です。急傾斜地や溪流の付近など、土砂災害により命が脅かされる危険性が認められる場所は、都道府県が土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域（以下「土砂災害警戒区域等」）に指定しています。

土砂災害警戒区域等は土砂災害ハザードマップで確認してください。また、これらの区域等にお住まいの方は、大雨のときには防災情報を利用して建物から立退き避難をすることが必要となります。

土砂災害警戒区域等に指定されているのは以下のような場所です。

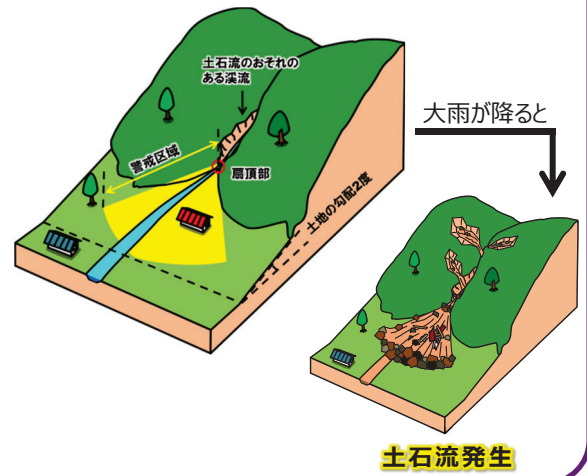
【崖崩れ】

- 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- 急傾斜地の上端から水平距離10m以内の区域
- 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍以内の区域（50mを超える場合は50m以内の区域）



【土石流】

- 土石流の発生のおそれのある溪流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域



図：気象庁作成



崩れた土砂は崖の高さの2倍の距離まで襲ってくる可能性があるということね。

勾配2度のこんなに平らな場所まで土石流が襲ってくることもあるんだ！



急傾斜地や溪流の付近における土砂災害への対応策

土砂災害は一瞬で命を奪う恐ろしい災害です。崖崩れや土石流の発生を確認してから避難するのでは間に合いません。

このため、土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときは災害発生の見込みに関する予測情報（**土砂災害警戒判定メッシュ情報等**）を活用することで、実際に災害が発生する前に、いち早く危険を覚知して早めに避難を開始することが大変重要です。

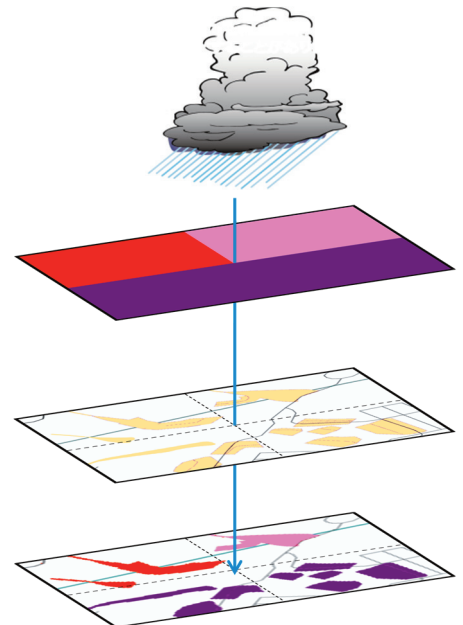
土砂災害警戒判定メッシュ情報

+

土砂災害警戒区域等

=

命に危険が及ぶ区域（避難が必要な区域）



危険度が高まっているメッシュ内の土砂災害警戒区域等の建物からは立退き避難が必要ということね。

「土砂災害警戒判定メッシュ情報」の色とその意味

色が持つ意味	住民等の行動の例	市町村から発令される避難情報
極めて危険	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する状況。命に危険が及ぶ土砂災害が すでに発生 していてもおかしくない。この状況になる前に避難を完了しておく。	避難を完了
	<p>濃い紫は災害がすでに発生していてもおかしくない</p> <p>遅くとも薄い紫で避難!</p> <p>広島市で発生した土砂災害（平成26年8月20日気象庁撮影）</p>	
非常に危険	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。 遅くともこの時点で 速やかに避難を開始する。	避難を開始
警戒 (警報級)	避難準備を整え、早めの行動を心がける。避難に時間のかかる高齢者等の方は遅くともこの時点で速やかに避難を開始する。	高齢者等は避難を開始
注意 (注意報級)	メッシュ情報をこまめに確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	メッシュ情報をこまめに確認
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	今後の情報等に留意



「極めて危険」(濃い紫色) が出現すると、命が奪われるような土砂災害が**すでに発生**していてもおかしくない状況となります。このため、高齢者等の方は遅くとも「警戒」(赤色) が出現した時点で、一般の方は遅くとも「非常に危険」(薄い紫色) が出現した時点で、土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ速やかに**避難**することが大変重要です。

土砂災害に関する主な防災気象情報

大雨警報（土砂災害）	大雨により、重大な土砂災害が発生するおそれがあると予想したときに発表しています。この情報が発表されたときは、「土砂災害警戒判定メッシュ情報」において「警戒」（赤色）が出現している又は出現しようとしていることを意味しており、市町村から避難準備・高齢者等避難開始が発令される状況です。「警戒」（赤色）のメッシュ内の土砂災害警戒区域等にお住まいの高齢者等の方は 速やかに避難を開始 してください。
土砂災害警戒情報	大雨により、命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、都道府県と気象庁が共同で発表しています。この情報が発表されたときは、「土砂災害警戒判定メッシュ情報」において「非常に危険」（薄い紫色）が出現していることを意味しており、市町村から避難勧告が発令される状況です。「非常に危険」（薄い紫色）のメッシュ内の土砂災害警戒区域等にお住まいの高齢者等の方は 速やかに避難を開始 してください。
記録的短時間大雨情報	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測した場合に発表しており、土砂災害等の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。この情報が発表されたときは、どこで土砂災害発生の危険度が高まっているかを「土砂災害警戒判定メッシュ情報」で確認してください。
土砂災害警戒判定メッシュ情報	大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、大雨警報（土砂災害）、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。避難にかかる時間を考慮して、危険度の判定には2時間先の未来までの予測値を用いています。遅くとも「非常に危険」（薄い紫色）が出現した時点で 速やかに避難を開始 し、「極めて危険」（濃い紫色）に変わるまでに土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への 避難を完了 しておく必要があります。

危険度の高まりに応じて段階的に発表される防災気象情報とその利活用

気象状況	気象庁の情報	住民の行動等	市町村の対応
大雨の約1日前	警報級の可能性	心構えを一段高める ハザードマップで土砂災害警戒区域等を確認	心構えを一段高める 職員の連絡体制を確認 今後の気象状況に注意
大雨の半日～数時間前	大雨注意報	夜間に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い 注意報	夜間に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い 注意報が発表されたときは 避難準備・高齢者等避難開始
大雨の数時間～2時間程度前	大雨警報	警戒（赤色）が出現 → 土砂災害警戒区域等にお住まいの方のうち、避難に時間のかかる高齢者等の方は速やかに 避難を開始	土砂災害発生の危険度が高まっているメッシュ内の土砂災害警戒区域等に 避難準備・高齢者等避難開始 （台風の暴風域に入る前に）
	土砂災害警戒情報	非常に危険（薄い紫色）が出現 → 命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況 土砂災害警戒区域等にお住まいの方は速やかに 避難を開始	土砂災害発生の危険度が高まっているメッシュ内の土砂災害警戒区域等に 避難勧告
	記録的短時間大雨情報	極めて危険（濃い紫色）が出現 → 命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生していてもおかしくない状況 この状況になる前に土砂災害警戒区域等にお住まいの方は 避難を完了	最大危険度のメッシュ内の土砂災害警戒区域等に 避難指示（緊急）
広い範囲で数十年に一度の大雨	大雨特別警報	数十年に一度のこれまでに経験したことのないような異常事態 土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、これより前の段階で「極めて危険」（濃い紫色）が出現するまでに 避難を完了	特別警報の住民への周知 メッシュ情報を参照し、 避難指示（緊急）等の 対象区域を再度確認